

人の「ユーモア」の感じ方

鳥居 完太 (22111241kt@tama.ac.jp)

1. 問題意識・興味関心

人間は対人関係において、笑わせるために様々な表現を行う。「この人の笑わせるセンスはいいな」「この人のユーモアは不快だな」と様々な感情を抱く。この快・不快の境界線は一体何か。そしてこれには個人差はあるのかと考えた。

ユーモアに対して、人はどのような感情を持つのかを調べたい。

2. 先行研究紹介

塚脇,樋口, 深田 (2009) が、ユーモアの種類を攻撃的、自虐的、遊戯的に分け、それらと人間の性格の尺度「自己受容」「攻撃性」「愛他性」との関係性を調査するという研究を行った。

皮肉やからかいなど、いわゆる「人を傷つける笑い」である攻撃的ユーモア、自己の失敗や未熟さを笑い話にした「自分を傷つける笑い」である自虐的ユーモア、ダジャレや簡単な言葉遊びである、このユーモアを放つと一般的には場が凍る、「寒い」とされている遊戯的ユーモア、ユーモアは、この3種類に分けられる。

人格特性とユーモアの関連を検討した結果、攻撃性が高い人ほど攻撃的ユーモアを使用する。攻撃的な人が攻撃的ユーモアをよく使用するというのは予想しやすい。攻撃をしたいという気持ちを皮肉やからかいとして昇華していると考えられる。

愛他性が高い人ほど遊戯的ユーモアを使用する。誰かを元気づけたい、場を和ませたいと思う人、つまり愛他性が高い人は、遊戯的ユーモアをよく使用すると考えられる。

自己受容度が高い人ほど自虐的・遊戯的ユーモアを使用する。自己の未熟さを客観視し、受け入れることによってユーモアとして昇華していると考えられる。

3. 研究目的・ゴール

ユーモアの種類によって、感じ方はどのように変わるのか。人は「人を傷つけない笑い」「誰かが傷ついている笑い」の区別を

するのか。もし、人を傷つける笑いを感じ取った場合、不快に感じる人はどのくらいの割合なのか。目の前提示されたユーモアに対し、人は何を感じるのかを調べたい。

4. 方法

攻撃的、自虐的、遊戯的のユーモアに該当する3種類のユーモアを考える。それに対して、「不愉快ですか」「面白いですか」などの質問を投げかける。

4. 結果予測

攻撃的ユーモアは「不快感」と「面白い」

自虐的ユーモアは「面白い」

遊戯的ユーモアは「つまらない」

という結果になると予想する。

5. 今後の方向性

ユーモアを考えるのが大変。誰にでも通じる、アンケートとして意味のある「良い感じ」のユーモアを考えなければならない。市販のジョーク集の本を参考にして考える予定。

予備調査として、事前調査として仲間内でユーモアをスコアリングする。そのうえで一番良いユーモアを使用する。

6. 引用文献

ユーモア表出と自己受容、攻撃性、愛他性との関係
塚脇,樋口,深田, (2009)